

2 2 地域コミュニティ参画に係る意識調査報告書

(1) 調査の概要

ア 調査の目的

近年、人口減少や少子高齢化の進展は著しく、人口減少対策や活力ある地域づくりに関連した市町への支援が村山総合支庁における喫緊の課題となっている。

そこで、関係人口の参画による地域コミュニティ機能の維持・協働の可能性を探るため、関係人口の意識及び地域コミュニティ機能の維持・協働の可能性の把握を目的に、以下の調査を実施した。

※本調査における「関係人口」とは、「主体的・継続的に地域コミュニティ活動に参画する者」を指す。

イ 調査期間

令和5年11月30日～令和6年1月14日

ウ 調査対象

山形県外に在住する方

エ 調査方法

インターネットによるアンケート調査

オ 調査内容

- ・ 地域コミュニティに関わることの意識について
 - ・ 地域コミュニティへの関わり方について
 - ・ 地域コミュニティへ関わることの不安・心配について
- ※詳細については「V 参考資料3」の調査票を参照。

カ 回収結果

- ・ 回収数 : 397件
- ・ 無効数 : 33件 (山形県在住者32、無記入1)
- ・ 有効数 : 364件

キ 注意事項

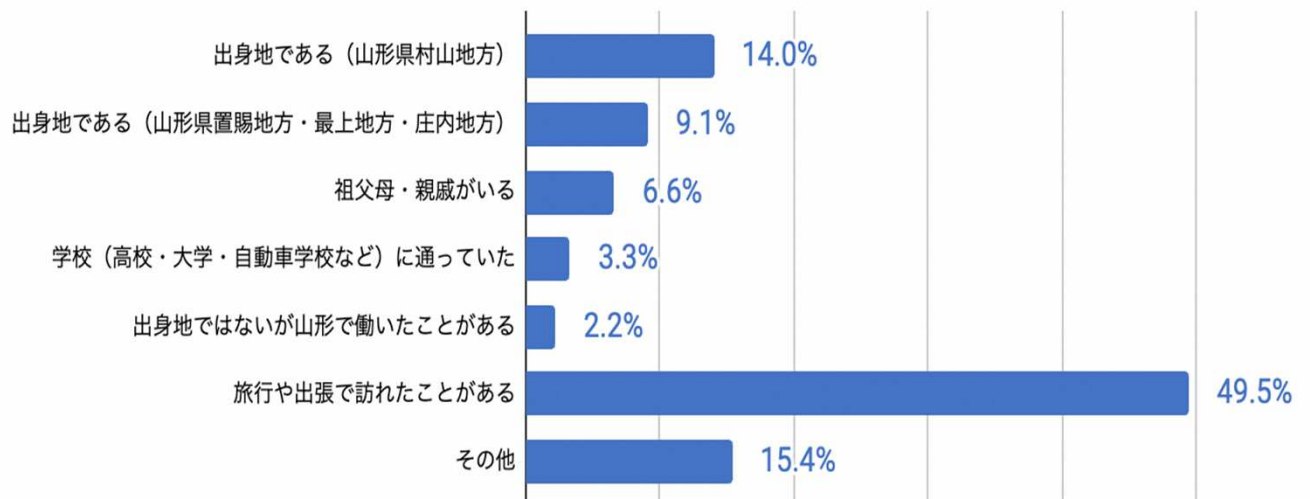
- 図表中の「回答数」は、設問に対する回答者総数である。
- 百分比は回答者総数全体（該当設問においては該当者数）に占める設問の選択者数の比率として算出している。なお、図表では小数点第2位をそれぞれ四捨五入しているため、百分比の合計が100%にならない場合がある。
- 複数回答が可能な設問の百分比の合計は、100%を超えることがある。

(2) 調査結果

ア アンケート回答者の属性

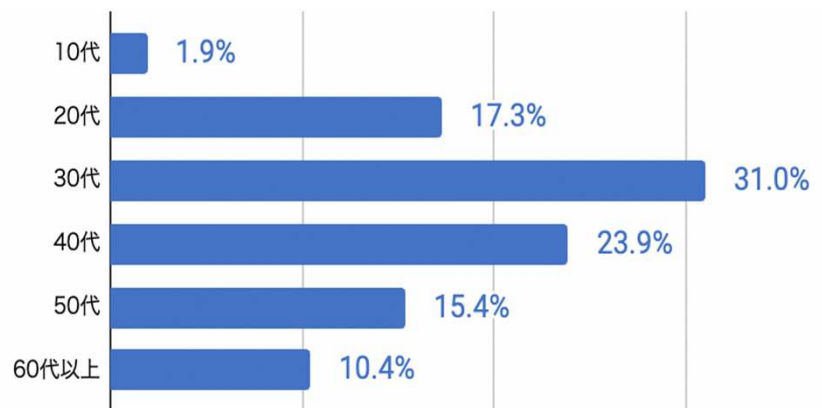
(ア) 山形県との関わり

(回答数=364)



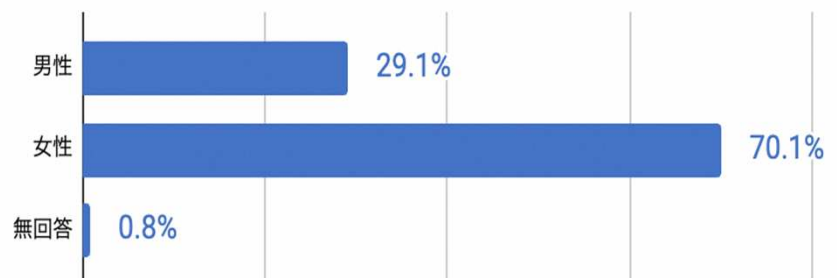
(イ) 年代

(回答数=364)



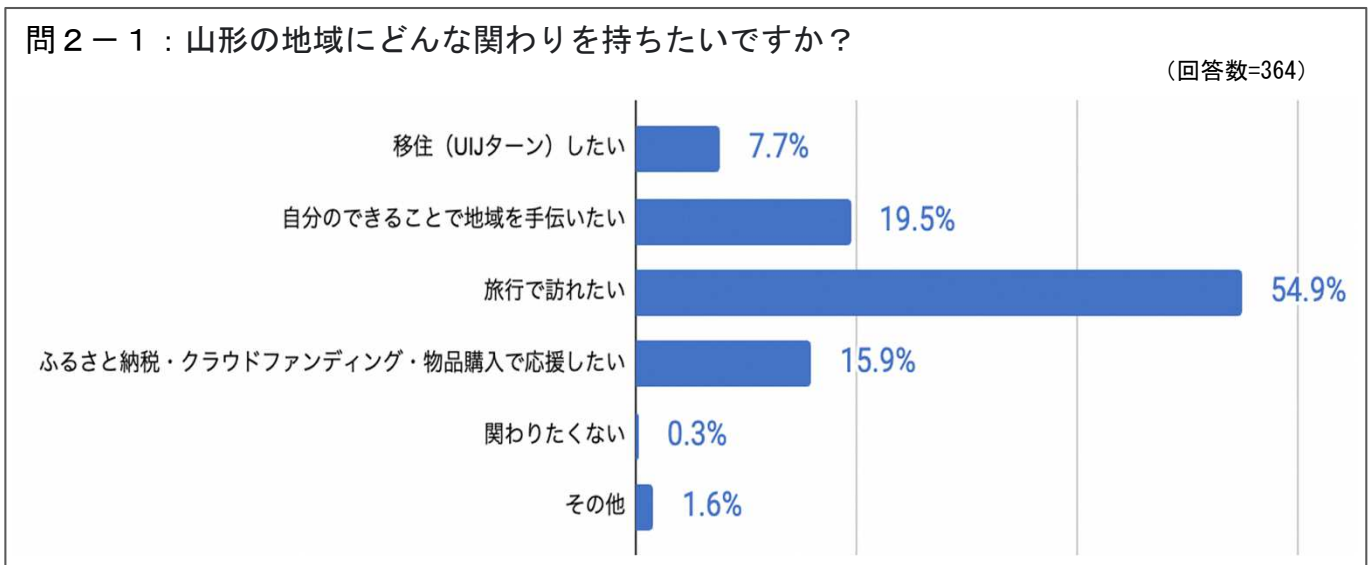
(ウ) 性別

(回答数=364)



イ 「山形の地域と関わることの意識」について

(ア) 山形県との関わりについて



「山形に地域に対してどんな関わりを持ちたいか」についてたずねたところ、回答が多かった順は下記のとおりとなっている。

- 1位：「旅行で訪れたい」…………… 54.9%
- 2位：「自分のできることで地域を手伝いたい」…………… 19.5%
- 3位：「ふるさと納税・クラウドファンディング・物品購入で応援したい」…………… 15.9%

〔属性別集計表〕

問2-1 山形の地域にどんな関わりを持ちたいですか。	回答数	移住(UJターン)したい	自分のできることで地域を手伝いたい	旅行で訪れたい	ふるさと納税・クラウドファンディング・物品購入で応援したい	関わりたくない	その他
全体	364	28 (7.7%)	① 71 (19.5%)	200 (54.9%)	58 (15.9%)	1 (0.3%)	6 (1.6%)
性別							
男性	106	5 (4.7%)	31 (29.2%)	54 (50.9%)	13 (12.3%)	1 (0.9%)	2 (1.9%)
女性	255	23 (9.0%)	40 (15.7%)	143 (56.1%)	45 (17.6%)	0 (0.0%)	4 (1.6%)
不明	3	0 (0.0%)	0 (0.0%)	3 (100.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)
年代							
20代以下	70	7 (10.0%)	② 25 (35.7%)	26 (37.1%)	12 (17.1%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)
30代	113	11 (9.7%)	20 (17.7%)	62 (54.9%)	18 (15.9%)	1 (0.9%)	1 (0.9%)
40代	87	4 (4.6%)	12 (13.8%)	52 (59.8%)	16 (18.4%)	0 (0.0%)	3 (3.4%)
50代	56	5 (8.9%)	10 (17.9%)	34 (60.7%)	6 (10.7%)	0 (0.0%)	1 (1.8%)
60代以上	38	1 (2.6%)	4 (10.5%)	26 (68.4%)	6 (15.8%)	0 (0.0%)	1 (2.6%)
山形との関わり							
出身者							
出身地である(山形県村山地方)	50	13 (26.0%)	25 (50.0%)	2 (4.0%)	9 (18.0%)	0 (0.0%)	1 (2.0%)
出身地である(山形県置賜地方・最上地方・庄内地方)	③ 33	6 (18.2%)	17 (51.5%)	3 (9.1%)	4 (12.1%)	0 (0.0%)	3 (9.1%)
それ以外							
祖父母・親戚がいる	21	2 (9.5%)	2 (9.5%)	14 (66.7%)	3 (14.3%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)
学校(高校・大学・自動車学校など)に通っていた	12	0 (0.0%)	3 (25.0%)	9 (75.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)
出身地ではないが山形で働いたことがある	④ 8	3 (37.5%)	2 (25.0%)	2 (25.0%)	1 (12.5%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)
旅行や出張で訪れたことがある	182	3 (1.6%)	18 (9.9%)	131 (72.0%)	30 (16.5%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)
その他	58	1 (1.7%)	4 (6.9%)	39 (67.2%)	11 (19.0%)	1 (1.7%)	2 (3.4%)



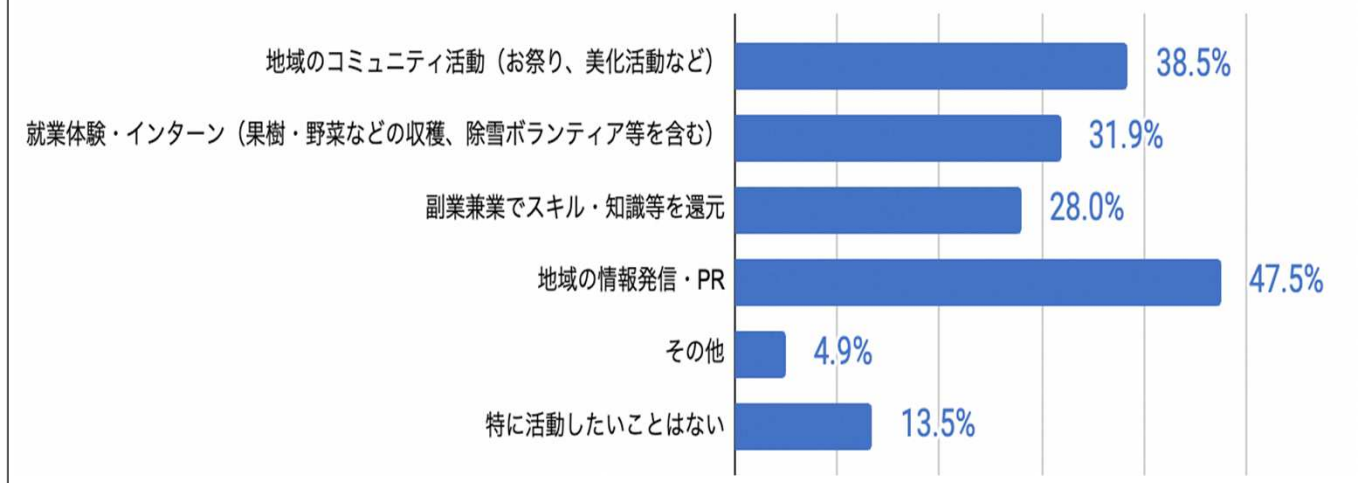
ポイント

- ① 「自分のできることで地域を手伝いたい」と回答した人の割合は、約2割となっている。
- ② 『20代以下』層は「自分のできることで地域を手伝いたい」と答えた割合が他の年代と比較して高い。
- ③ 『山形県出身者』層は「移住(UJターン)したい」、「自分のできることで地域を手伝いたい」と回答した人の割合が高い。
- ④ 『出身地ではないが山形で働いたことがある』層は「移住(UJターン)したい」と回答した人の割合が高い。

(イ) 活動内容について

問2-2：地域で活動する場合、どんな内容の活動をしたいですか？（複数回答可）

（回答数=364）



「山形の地域で活動する場合、どんな内容の活動をしたいか」についてたずねたところ、回答が多かった順は下記のとおりとなっている。

- 1位：「地域の情報発信・PR」……………47.5%
- 2位：「地域のコミュニティ活動（お祭り、美化活動など）」……………38.5%
- 3位：「就業体験・インターン（果樹・野菜などの収穫、除雪ボランティア等を含む）」……………31.9%

〔属性別集計表〕

問2-2 地域で活動する場合、どんな内容の活動をしたいですか。（複数回答可）	回答数	地域のコミュニティ活動（お祭り、美化活動など）	就業体験・インターン（果樹・野菜などの収穫、除雪ボランティア等を含む）	副業兼業でスキル・知識等を還元	地域の情報発信・PR	その他	特に活動したいことはない
全体	364	140 (38.5%)	116 (31.9%)	102 (28.0%)	173 (47.5%)	18 (4.9%)	49 (13.5%)
性別							
男性	106	39 (36.8%)	30 (28.3%)	49 (46.2%)	48 (45.3%)	4 (3.8%)	7 (6.6%)
女性	255	100 (39.2%)	84 (32.9%)	51 (20.0%)	123 (48.2%)	14 (5.5%)	42 (16.5%)
不明	3	1 (33.3%)	2 (66.7%)	2 (66.7%)	2 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)
年代							
20代以下	70	34 (48.6%)	24 (34.3%)	28 (40.0%)	40 (57.1%)	0 (0.0%)	5 (7.1%)
30代	113	50 (44.2%)	33 (29.2%)	31 (27.4%)	57 (50.4%)	5 (4.4%)	16 (14.2%)
40代	87	27 (31.0%)	28 (32.2%)	25 (28.7%)	39 (44.8%)	7 (8.0%)	15 (17.2%)
50代	56	19 (33.9%)	23 (41.1%)	13 (23.2%)	23 (41.1%)	2 (3.6%)	7 (12.5%)
60代以上	38	10 (26.3%)	8 (21.1%)	5 (13.2%)	14 (36.8%)	4 (10.5%)	6 (15.8%)
山形との関わり							
出身者							
出身地である(山形県村山地方)	50	22 (44.0%)	11 (22.0%)	27 (54.0%)	29 (58.0%)	3 (6.0%)	1 (2.0%)
出身地である(山形県置賜地方・最上地方・庄内地方)	33	14 (42.4%)	11 (33.3%)	17 (51.5%)	20 (60.6%)	3 (9.1%)	3 (9.1%)
それ以外							
祖父母・親戚がいる	21	10 (47.6%)	4 (19.0%)	4 (19.0%)	7 (33.3%)	2 (9.5%)	4 (19.0%)
学校(高校・大学・自動車学校など)に通っていた	12	5 (41.7%)	3 (25.0%)	3 (25.0%)	4 (33.3%)	0 (0.0%)	2 (16.7%)
出身地ではないが山形で働いたことがある	8	2 (25.0%)	3 (37.5%)	3 (37.5%)	5 (62.5%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)
旅行や出張で訪れたことがある	182	63 (34.6%)	60 (33.0%)	44 (24.2%)	80 (44.0%)	8 (4.4%)	28 (15.4%)
その他	58	24 (41.4%)	24 (41.4%)	4 (6.9%)	28 (48.3%)	2 (3.4%)	11 (19.0%)

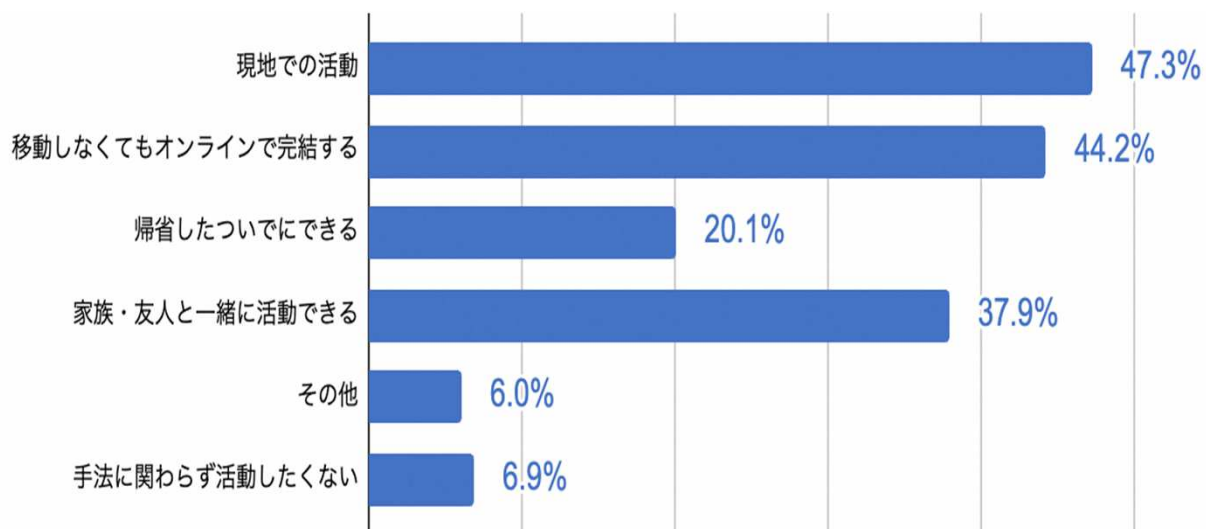


ポイント

- ① 地域で活動する場合の内容について、「地域の情報発信・PR」と回答した人の割合が約5割と最も高い。
- ② 『山形県出身者』層は「副業兼業でスキル・知識等を還元」や「地域の情報発信・PR」で、『祖父母・親戚がいる』層や『学校に通っていた』層では「地域のコミュニティ活動（お祭り、美化活動など）」で活動したい人の割合が高い。

(ウ) 活動手法について

問2-3：地域で活動する場合、どのような手法を希望しますか？（複数回答可）
 (回答数=364)



「山形の地域で活動する場合、どのような手法を希望するか」についてたずねたところ、回答が多かった順は下記のとおりとなっている。

- 1位：「現地での活動」…………… 47.3%
- 2位：「移動しなくてもオンラインで完結する」…………… 44.2%
- 3位：「家族・友人と一緒に活動できる」…………… 37.9%

〔属性別集計表〕

問2-3 地域で活動する場合、どのような手法を希望しますか。（複数回答可）	回答数	現地での活動	移動しなくてもオンラインで完結する	帰省したついでにできる	家族・友人と一緒に活動できる	その他	手法に関わらず活動したくない
全体	364	① 172 (47.3%)	161 (44.2%)	73 (20.1%)	138 (37.9%)	22 (6.0%)	25 (6.9%)
性別							
男性	106	54 (50.9%)	49 (46.2%)	24 (22.6%)	30 (28.3%)	8 (7.5%)	6 (5.7%)
女性	255	115 (45.1%)	111 (43.5%)	48 (18.8%)	107 (42.0%)	13 (5.1%)	19 (7.5%)
不明	3	3 (100.0%)	1 (33.3%)	1 (33.3%)	1 (33.3%)	1 (33.3%)	0 (0.0%)
年代							
20代以下	70	37 (52.9%)	37 (52.9%)	19 (27.1%)	25 (35.7%)	2 (2.9%)	3 (4.3%)
30代	113	53 (46.9%)	57 (50.4%)	25 (22.1%)	50 (44.2%)	4 (3.5%)	7 (6.2%)
40代	87	39 (44.8%)	36 (41.4%)	14 (16.1%)	35 (40.2%)	7 (8.0%)	8 (9.2%)
50代	56	31 (55.4%)	19 (33.9%)	9 (16.1%)	20 (35.7%)	4 (7.1%)	2 (3.6%)
60代以上	38	12 (31.6%)	12 (31.6%)	6 (15.8%)	8 (21.1%)	5 (13.2%)	5 (13.2%)
山形との関わり							
出身者							
出身地である(山形県村山地方)	50	24 (48.0%)	28 (56.0%)	② 37 (74.0%)	18 (36.0%)	2 (4.0%)	0 (0.0%)
出身地である(山形県置賜地方・最上地方・庄内地方)	33	18 (54.5%)	16 (48.5%)	15 (45.5%)	10 (30.3%)	1 (3.0%)	1 (3.0%)
それ以外							
祖父母・親戚がいる	21	9 (42.9%)	8 (38.1%)	8 (38.1%)	7 (33.3%)	1 (4.8%)	3 (14.3%)
学校(高校・大学・自動車学校など)に通っていた	12	5 (41.7%)	10 (83.3%)	2 (16.7%)	4 (33.3%)	1 (8.3%)	1 (8.3%)
出身地ではないが山形で働いたことがある	8	③ 7 (87.5%)	2 (25.0%)	3 (37.5%)	4 (50.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)
旅行や出張で訪れたことがある	182	83 (45.6%)	71 (39.0%)	5 (2.7%)	71 (39.0%)	15 (8.2%)	15 (8.2%)
その他	58	26 (44.8%)	26 (44.8%)	3 (5.2%)	24 (41.4%)	2 (3.4%)	5 (8.6%)



ポイント

- ① 「現地での活動」、「移動しなくてもオンラインで完結する」と答えた人の割合はそれぞれ約5割となっている。
- ② 『山形県出身者』層は「帰省したついでにできる」と回答した人の割合が高い。
- ③ 『出身者ではないが山形で働いたことがある』層は、「現地での活動」と回答した人の割合が高く、約9割となっている。

(エ) 活動する上で大事なこと

問2-4：地域で活動する上で大事なことは何ですか？2つまで選んでください。活動したくないと回答した方は、もし仮に活動する場合を想定して回答してください。

(回答数=364)



「地域で活動する上で大事なこと」についてたずねたところ、回答が多かった順は下記のとおりとなっている。

- 1位：「興味関心のあることに携われる」…………… 67.0%
- 2位：「ありがとう」「助かった」と思ってもらえる・言ってもらえる…………… 38.7%
- 3位：「スキルがなくてもできる」…………… 36.0%

〔属性別集計表〕

問2-4 地域で活動する上で大事なことは何ですか。2 つまで選んでください。	回答数	自分の強みが 活かせる	スキルがな くてもでき る	興味関心の あることに 携われる	交通費補助・賃 金発生など、 「お金」がもら える	「ありがとう」「助 かった」と思っ てもらえる・言 ってもらえる	モノがもら える	その他
全体	364	121 (33.2%)	131 (36.0%)	244 (67.0%)	102 (28.0%)	141 (38.7%)	48 (13.2%)	9 (2.5%)
性別								
男性	106	51 (48.1%)	30 (28.3%)	60 (56.6%)	29 (27.4%)	41 (38.7%)	12 (11.3%)	3 (2.8%)
女性	255	68 (26.7%)	100 (39.2%)	182 (71.4%)	72 (28.2%)	99 (38.8%)	36 (14.1%)	6 (2.4%)
不明	3	2 (66.7%)	1 (33.3%)	2 (66.7%)	1 (33.3%)	1 (33.3%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)
年代								
20代以下	70	32 (45.7%)	22 (31.4%)	51 (72.9%)	24 (34.3%)	29 (41.4%)	8 (11.4%)	1 (1.4%)
30代	113	39 (34.5%)	45 (39.8%)	77 (68.1%)	37 (32.7%)	38 (33.6%)	14 (12.4%)	2 (1.8%)
40代	87	26 (29.9%)	30 (34.5%)	55 (63.2%)	21 (24.1%)	35 (40.2%)	13 (14.9%)	4 (4.6%)
50代	56	12 (21.4%)	18 (32.1%)	40 (71.4%)	15 (26.8%)	22 (39.3%)	12 (21.4%)	1 (1.8%)
60代以上	38	12 (31.6%)	16 (42.1%)	21 (55.3%)	5 (13.2%)	17 (44.7%)	1 (2.6%)	1 (2.6%)
山形との 関わり								
出身者								
出身地である(山形県村山地方)	50	26 (52.0%)	14 (28.0%)	35 (70.0%)	16 (32.0%)	22 (44.0%)	6 (12.0%)	2 (4.0%)
出身地である(山形県置賜地方・最上地方・庄内地方)	33	18 (54.5%)	13 (39.4%)	23 (69.7%)	5 (15.2%)	11 (33.3%)	3 (9.1%)	3 (9.1%)
それ以外								
祖父母・親戚がいる	21	7 (33.3%)	7 (33.3%)	11 (52.4%)	5 (23.8%)	6 (28.6%)	5 (23.8%)	0 (0.0%)
学校(高校・大学・自動車学校など)に通っていた	12	4 (33.3%)	5 (41.7%)	7 (58.3%)	5 (41.7%)	4 (33.3%)	2 (16.7%)	0 (0.0%)
出身地ではないが山形で働いたことがある	8	3 (37.5%)	4 (50.0%)	5 (62.5%)	4 (50.0%)	2 (25.0%)	1 (12.5%)	0 (0.0%)
旅行や出張で訪れたことがある	182	56 (30.8%)	59 (32.4%)	123 (67.6%)	53 (29.1%)	75 (41.2%)	23 (12.6%)	3 (1.6%)
その他	58	7 (12.1%)	29 (50.0%)	40 (69.0%)	14 (24.1%)	21 (36.2%)	8 (13.8%)	1 (1.7%)



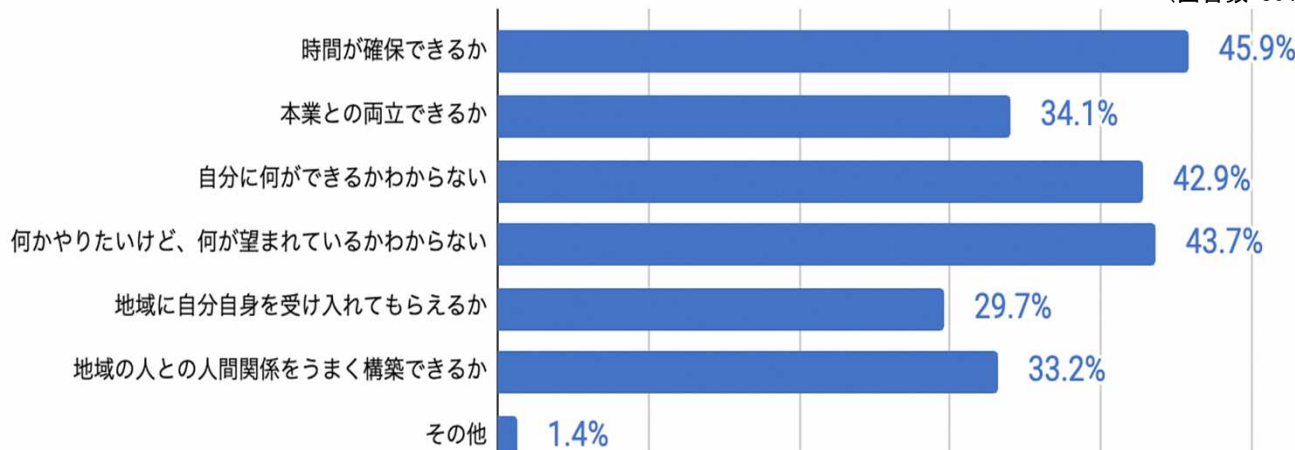
ポイント

- ① 地域で活動する上で「興味関心のあることに携われる」と答えた人の割合が約7割となっており、重要視している人が多い。
- ② 『山形県出身者』層は、「自分の強みが活かせる」と回答した人の割合が約5割となっており、県外出身者と比べて割合が高い。

(オ) 活動する上での不安・心配

問2-5：地域で活動する上でどのような不安・心配がありますか？（複数回答可）
活動したくないと回答した方は、もし仮に活動する場合を想定して回答してください。

(回答数=364)



「地域で活動する上でどのような不安・心配があるか」についてたずねたところ、回答が多かった順は下記のとおりとなっている。

- 1位：「時間が確保できるか」…………… 45.9%
- 2位：「何かやりたいけど、何が望まれているかわからない」…………… 43.7%
- 3位：「自分に何ができるかわからない」…………… 42.9%

〔属性別集計表〕

問2-5 地域で活動する上でどのような不安・心配 がありますか。（複数回答可）	回答数	時間が確保 できるか	本業との両 立できるか	自分に何が できるかわ からない	何かやりたい けど、何が 望まれて いるかわか らない	地域に自分 自身を受け 入れてもら えるか	地域の人と の人間関係 をうまく構 築できるか	その他
全体	364	167 (45.9%)	124 (34.1%)	156 (42.9%)	159 (43.7%)	108 (29.7%)	121 (33.2%)	5 (1.4%)
性別								
男性	106	50 (47.2%)	45 (42.5%)	25 (23.6%)	39 (36.8%)	28 (26.4%)	36 (34.0%)	1 (0.9%)
女性	255	115 (45.1%)	78 (30.6%)	129 (50.6%)	117 (45.9%)	79 (31.0%)	84 (32.9%)	4 (1.6%)
不明	3	2 (66.7%)	1 (33.3%)	2 (66.7%)	3 (100.0%)	1 (33.3%)	1 (33.3%)	0 (0.0%)
年代								
20代以下	70	37 (52.9%)	33 (47.1%)	29 (41.4%)	32 (45.7%)	17 (24.3%)	17 (24.3%)	0 (0.0%)
30代	113	58 (51.3%)	42 (37.2%)	51 (45.1%)	49 (43.4%)	41 (36.3%)	35 (31.0%)	1 (0.9%)
40代	87	38 (43.7%)	25 (28.7%)	34 (39.1%)	37 (42.5%)	25 (28.7%)	31 (35.6%)	2 (2.3%)
50代	56	21 (37.5%)	16 (28.6%)	24 (42.9%)	26 (46.4%)	15 (26.8%)	26 (46.4%)	1 (1.8%)
60代以上	38	13 (34.2%)	8 (21.1%)	18 (47.4%)	15 (39.5%)	10 (26.3%)	12 (31.6%)	1 (2.6%)
山形との 関わり								
出身者								
出身地である(山形県村山地方)	50	21 (42.0%)	22 (44.0%)	20 (40.0%)	26 (52.0%)	8 (16.0%)	9 (18.0%)	1 (2.0%)
出身地である(山形県置賜地方・最上地方・庄内地方)	33	18 (54.5%)	16 (48.5%)	12 (36.4%)	10 (30.3%)	8 (24.2%)	12 (36.4%)	0 (0.0%)
祖父母・親戚がいる	21	9 (42.9%)	6 (28.6%)	11 (52.4%)	12 (57.1%)	8 (38.1%)	6 (28.6%)	0 (0.0%)
それ以外								
学校(高校・大学・自動車学校など)に通っていた	12	9 (75.0%)	5 (41.7%)	8 (66.7%)	7 (58.3%)	4 (33.3%)	5 (41.7%)	0 (0.0%)
出身地ではないが山形で働いたことがある	8	3 (37.5%)	4 (50.0%)	4 (50.0%)	4 (50.0%)	3 (37.5%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)
旅行や出張で訪れたことがある	182	81 (44.5%)	58 (31.9%)	69 (37.9%)	77 (42.3%)	65 (35.7%)	65 (35.7%)	2 (1.1%)
その他	58	26 (44.8%)	13 (22.4%)	32 (55.2%)	23 (39.7%)	12 (20.7%)	24 (41.4%)	2 (3.4%)



ポイント

- ① 地域で活動する上での不安・懸念について、「時間が確保できるか」と答えた人の割合が約5割となっており、「何かやりたいけど、何が望まれているかわからない」、「自分に何ができるかわからない」と答えた人の割合もそれぞれ約4割を超えている。
- ② 『山形県出身者』層は、「本業との両立ができるか」と答えた人の割合が約5割となっており、県外出身者と比べて割合が高い傾向にある。

ウ まとめ

【地域に関わることの意識】

- 若年層は、山形県との関わり方として「自分のできることで地域を手伝いたい」という意向が強い。
- 県内出身者はもとより、「出身地ではないが山形で働いたことがある」層のような山形県に居住経験がある人は、「移住（UIJターン）したい」と回答した割合が高い。

【地域との関わり方に対する考え】

- 実際に地域で活動するのであれば、「地域の情報発信・PR」の活動をしたいと回答した人が多い。
- 県内出身者は、「副業兼業でスキル・知識等を還元する活動」、「地域の情報発信・PR」といった活動を望んでいる人が多く、活動する上では「自分の強みが活かせること」、「興味関心のあることに携われること」を重要と考えている。

【地域に関わることの不安・心配】

- 地域の活動に参画することを想定すると、時間の確保や仕事や勉強などの本業との両立ができるか不安に思う人が多い。
- また、多くの人が「何かやりたいけど、何が望まれているかわからない」、「自分に何ができるかわからない」といった不安や心配を抱えている。

【地域に対する関係人口のマインド】

- 活動する手法としては、「現地での活動」と共に、気軽に行える「オンラインでの活動」という回答が多い。
- 関係人口側は、地域に関わって活動することに関心はあっても、具体的に何をすればいいのか、地域は何を求めているのか、それに対して自分は何ができるか、という不安・懸念を持っているため、地域側から「こんなことをしてほしい」、「一緒にやろう」という具体的な活動の提示があった方が地域の活動に参画しやすいと思われる。